

# ノイエスだより

ノイエス朝日  
(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町73-5  
TEL 027-255-3434  
FAX 027-255-3435  
https://www.neues-asahi.jp  
Communication House  
NEUES  
ASAHI

海外から友人夫婦が来たので家の周辺や伊香保を案内しました。満開の桜の下でお花見をしたい！というリクエストでしたが、前橋公園はまだ咲いてなく、なんとか敷島公園の枝垂れ桜が満開なのをみつけてその下でお弁当を食べました。伊香保へ行った日は終日雨で、平日だったこともあり店や階段も閑散として、宿の部屋や露天風呂からの眺めは真っ白な雲ばかり。色々と期待していた景色を見せられずにつかりしていた私とは別に、子どもたちと客人は広い部屋に布団をたくさん並べて修学旅行状態がうれしくて、オセロをしたりゴロゴロしたり、とても楽しんでいました。最終日、雨の予報を外して晴れてくれたおかげでなんとか谷川連峰まで山並みが見えて「そうそう、これを見てほしかった」と私も皆も大満足の朝風呂と朝食で旅を終えることができました。あつという間の数日間に、やりたいこと行きたいところを全部こなすことができず、なんだか申し訳なかったと思つたのですが、相手は色々な経験ができてとっても楽しかったと大満足だったようです。

私も旅に出る時はそうですが、行き来の道程や見える景色、街の雰囲気や置いてあるもの、いつもとは違う空気さえもが新鮮で、何よりも昔馴染みに会えただけで十分なのかもしれませぬ。

朋有り 遠方より来たる 亦た楽しかりや

私は最近まで「朋有り」は「友有り」で、単に「遠くから友人が来てくれて一緒に酒を飲むことは何と楽しいことなのだろう」ということだけだと思っていました。

子(し) 日(いわ)く、学(ま)びて時にこれを習(ま)う、亦(ま) た説(よ)ん(こ)は  
しか(り)や。朋(とも) 有(あ)り遠方より来(きた)る、亦(ま) た楽しかりや。  
人知(り)ずして温(ぬ)む、亦(ま) た君子(こ)な(り)や。

孔子(こうし)が言(い)われた。「師(し)の教(お)えてくれたことを学び、いつも繰り返して自分の身につける。なんと喜(よろこ)ばしいことだろう。同じ志(こころ)をもつ友(とも)達が遠くからでもやってきて一緒に学(ま)ぶ。なんと喜(よろこ)ばしいことだろう。たとえ(い)こうした生き方を他人(たにん)がわか(わ)かってくれなくても、氣(き)にかけたりはしない。それこそ君子(こ)といえるのではあるまいか。」(三(さん)堂(どう) 辞(じ)書(しょ)ウエブ編(へん)集(じゅう)部(ぶ))

本来は学問(がくもん)で志(こころ)を同じ(おな)じにする同朋(どうほう)ということだそうですが、私(わたし)と友人(とも)は同じ学問(がくもん)をしてい(い)たわけではな(な)いけれど、同じ地(ち)で学生(がくせい)時代(じだい)を過(すご)して氣(き)が合(あ)ってず(ず)っと関(かん)係(けい)が続(つ)いてい(い)るという点(てん)では同志(どうし)でもあるの(の)かもし(も)れませ(せ)ん。会(あ)えば会(あ)話は(わ)は尽(つ)きず、見(み)栄(えい)を張(は)ることも遠慮(えんりょ)することもなく心地(こころ)よく過(すご)せる朋(とも)がに(に)感(かん)謝(しゃ)し(ま)す。

普段(ふだん)の生活(せいかつ)を丁寧(ていねい)に過(すご)すこと、置(お)かれた状況(じょうきょう)に感(かん)謝(しゃ)して喜(よろこ)びを見(み)出すことなど、友人(とも)のおか(お)げで初(はつ)心(しん)を思(おも)い出(だ)したり、今(いま)の状況(じょうきょう)を説(せつ)明(めい)しながらこ(こ)こ数年(ねん)を振(ふ)り返(かへ)り返(かへ)りたり、新(しん)年(ねん)度(ど)らしい4(よ)月のス(す)タート(と)となりま(ま)した。(橋(はし)本(もと))

## ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

### 第27回 樺澤健治作陶展

四月十九日(金)～二十五日(木)  
午前十時三十分～午後六時(最終日は午後四時閉場)

### 第10回 群馬工芸美術会五月展

五月十一日(土)～十九日(日)  
午前十時～午後五時(最終日は午後四時終了)

新緑の野山に萌える今日この頃、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

群馬工芸美術会は発足以来四十年を迎え、高崎シティ・ギャラリーでの「群馬工芸美術展」と隔年で開催してきたノイエス朝日での「五月展」は十回目になりました。新型コロナウイルスの状況もようやく落ち着き一年が過ぎました。しかし時折、身近でコロナ感染の話を目にします。まだ少し日々の生活に不安が残っていますが、右記の日程で「第10回五月展」を開催する運びとなりました。

鑑賞するだけでなく、新しい生活様式を模索しつつ「工芸」の本来の目的である「使う」ことを意識した作品を展示販売いたします。今回は会員の中から二十二名が出品いたします。ご多忙中とは存じますが、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

群馬工芸美術会代表 豊嶋 康男  
出品会員一同

### 田中悟子 個展

五月二十五日(土)～六月二日(日)  
午前十時～午後五時

〈企画〉

## ノイエス朝日 展覧会スケジュールカレンダー

月	火	水	木	金	土	日	
8日	9	10	11	12	13	14	4月
15	16	17	18	19	20	21	4月
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	1日	2	3	4	5	5月
6	7	8	9	10	11	12	5月
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	5月
27	28	29	30	31	1日	2	
							6月

樺澤健治 作陶展

群馬工芸美術会 五月展

田中悟子 個展



ノイエス朝日 今後の予定

上野村の竹工芸二人展(仮題)

青木岳男・石井淳・宮川弘尚

六月八日(土)～十六日(日)

「Stone Works」

小淵俊夫彫刻展(仮題)

六月二十二日(土)～三十日(日)

